

平成24年度 第2回心といのちを守る県民運動 概要

日時：平成25年2月4日（月） 午後1時45分から午後3時30分まで

場所：とりぎん文化会館（第3会議室）

<報告事項1> 「鳥取県の自殺統計について」鳥取県立精神保健福祉センター 原田所長

警察庁の平成24年の速報値によると、全国の自殺者数は平成10年から続いていた3万人をきり、27766人。鳥取県は平成24年130人となり、平成8年以来一番少ない。鳥取県の自殺死亡率は、高く推移していたが、全国並みになってきた。各職域で自殺対策に取り組んだ結果だと思っている。

若い世代、働き盛り世代、高齢者、全ての年代に対して取り組みが必要。特に今後は、20歳代への取り組みは地域の中での課題となっている。今後も1人でも自殺死亡者を減らしていけるよう様々な方面で、引き続き自殺対策の取り組みが必要。

<報告事項2> 「各団体の活動報告」

今回の会議から2団体～3団体の活動を詳しく報告し、それぞれの他団体の取り組みの参考とする。

○鳥取県医師会 鳥取県医師会 渡辺理事

- ・かかりつけ医の研修会。うつ症状の方への適切な診断及び治療後、重傷にならない状態で地域連携をし、適切な治療を行っていく考え方で取り組んでいる。
- ・精神医療関係者の研修会。様々な職種を対象として、地域医療における多様なうつ病をどうとらえ対応すべきかをテーマに開催。今年度は2回開催（鳥取会場、米子会場）。
- ・医療連携。かかりつけ医と精神科医の連携マニュアルを作成し、かかりつけ医と精神科医に配布して、活用している。精神科への紹介が望ましい例などが掲載されている。精神科とかかりつけ医の連携は今後もさらに充実させたい。また、ハイリスク群への対応は医療機関だけでなく、保健師や職場の看護師などと協力し地域全体で取り組みができればよいと考えている。

○鳥取県教育センター 鳥取県教育センター 護田課長

教育相談という切り口で、子どもの心や命を守る取り組みをしている。

- ・専門指導員による教育相談。特に修学前、小学校低学年の子どもの学校生活や家庭生活できになることについて相談や支援を実施
- ・県教育センター教育相談。精神科医を迎えての相談会。医療機関への受診に二の足を踏む事例などがあるので、この相談会を利用。
- ・教育支援センター「ハートフルスペース」。不登校、ひきこもりの青少年への支援。
- ・いじめ110番。いじめに特化した電話相談、メール相談。二つ折りの名刺サイズで、相談窓口カードを作成し広報をしている。
- ・電話相談件数は、平成24年度120件で前年より増加。相談事例：「死に方を教えてください」、対応については警察の協力支援あり。

(医師会)学校医もメンタルヘルスを重要な課題として、心の面のかかわりを重要視していく方針。事例によっては、養護教諭や学校医にも相談をいただくとよい。

(いのちの電話) いのちの電話相談に子どもの相談は入ってこない。

○その他

(健康政策課) 平成25年度の予算要求額6400万円。自殺対策緊急対策強化基金は平成26年度まで。県としては、今後人材育成に力を入れ、地域の中で見守っていただける方を養成する。

(米子市) 人材育成を中心に取り組み、ゲートキーパー研修会を開催している。市民向け研修会は、参加人数が多かった。来年度は、若者世代にアプローチ。PTAや学校と協力したい。

(智頭町) 心の相談会、講演会、健康教室など実施。3月に音楽紙芝居を開催。地道な活動を続けている。

(精神保健福祉センター) 地域でゲートキーパー研修講師として活動される方を対象に研修会を開催。研修の教材を提供している。ゲートキーパー研修は、民生児童委員や保健推進員などを対象に地域ごとに開催中。

(警察) 自殺に関する相談(安全相談)があれば指導や対応をしていくが、警察本部に件数として全て入ってこない。

<協議事項1>ネットワークの強化について

ネットワークの各機関からの自殺対策事業について資料あり。

(鳥大) いじめ関連で自殺につながるような抑うつ状態の対応など、学校と連携がとれたらと思う。緊急な課題として考えている。

(商工会議所) 弁護士会と連携している。

企業倒産による自殺、経営者や経営幹部の自殺を防止するために、商工会議所の経営支援員が活動している。商工会議所に設置した県作成のスーミンカレンダーは非常に好評だった。

(精神保健福祉センター) 自死遺族のつどいを開催。新聞広告をきっかけに参加する者が多い。コスモスの会と連携をとりながら実施したい。

(東部福祉保健局) 相談窓口担当者連絡会を予定。ゲートキーパー研修会は、対象者を広げて開催。

(中部福祉保健局) 今年度から、相談窓口担当者連絡会を開催し、関係機関に集まっていたいでいる。

(西部福祉保健局) 相談窓口担当者連絡会を開催。新たにミドルシニア仕事プラザ、米子若者仕事プラザ、消防局に加わっていただいた。関係機関と何ができるか日々検討。

<その他>

(事務局) 鳥取県自殺対策取組事例集の紹介